

未来へつなげ!

復興のバトン



東日本大震災津波の記憶と教訓を次世代へ。復興と共に進む方を紹介します。

第7回 有限会社ヤマキイチ商店

専務取締役 君ヶ洞剛一さん（釜石市）



三陸の魅力を全国へ 生産者の想いを届けます

釜石市平田（へいた）のヤマキイチ商店は、活きた状態でホタテを届ける「泳ぐホタテ」を販売しています。事務所とホタテのいけすがあった工場は、東日本大震災津波で流出しました。専務取締役の君ヶ洞剛一（きみがほらたけいち）さんは、「言葉では言い表せないほど辛かったです。それでも、自分にできることは何か考えた時、やはり地域と一緒に頑張っていくことが大切だと強く思いました」と話します。

震災から1年後の2012年、工場を再建し仕入れと販売を再開。東京のレストランとの取引が始まるとすぐに、地元の漁師の方々をレストランに連れて行きました。「漁師さ

んには丹精込めて育てた海産物が大勢の方を幸せにしていることをもっと身近に感じてほしい。漁業は、地形などの好条件だけでは成り立たない。震災があっても、海を大事に守り続けた漁師の皆さんが三陸の宝なんです」と語ります。

君ヶ洞さんは地域の情報発信にも力を入れています。2021年には、観光まちづくり会社・株式会社かまいしDMCが主催するオンラインツアーで釜石の海の幸を紹介。県外在住者向けに釜石の魅力伝えました。

「三陸の魅力はたくさんあります。それを全国の皆さんに伝え続けることが、次の世代に向けた自分の役割だと思っています」と、三陸の未来を見つめています。



「地元の方と三陸に訪れた方の触れ合いの場になってほしい」との思いから、2022年6月に、会社の駐車場の一部を利用し、コミュニティスペースを新築予定。(上は完成イメージ)



「泳ぐホタテ」は、ホタテをストレスのない状態で管理し、活きたまま届けます。さばく時点でも躍動するほど新鮮なホタテは、貝柱が大きく肉厚。シャキシャキとした歯ごたえが特徴です。

有限会社ヤマキイチ商店

宮古、釜石、陸前高田などから、新鮮な魚介類を仕入れ、「三陸のうまい」を全国へ届けています。「泳ぐホタテ」は、大きさ、味、鮮度、全てにおいて最高品質を誇る一品です。

岩手県釜石市平田町1-1500

TEL 0193-26-5749

<https://www.yamakiichi.com/>

